

# 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月30日

上場会社名 JFEコンテナ株式会社  
 コード番号 5907 URL <http://www.jfecon.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中島 廣久

問合せ先責任者 (役職名) 企画部長

(氏名) 村上 伸二

TEL 03-5822-6703

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	6,386	△19.2	537	△23.4	396	△42.4	169	△66.8
24年3月期第1四半期	7,908	6.8	700	2.9	688	9.7	509	85.2

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 333百万円 (△46.6%) 24年3月期第1四半期 624百万円 (100.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	5.90	—
24年3月期第1四半期	17.80	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	29,163		17,174			56.8
24年3月期	31,233		16,896			52.5

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 16,559百万円 24年3月期 16,393百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
24年3月期	—	5.00	—	5.00	円 銭	10.00
25年3月期	—					
25年3月期(予想)		5.00	—	5.00	円 銭	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	△17.1	1,000	△26.9	900	△31.6	500	△37.7	17.45
通期	27,500	△11.3	2,200	△2.9	2,100	△4.7	1,200	2.4	41.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	28,675,000 株	24年3月期	28,675,000 株
25年3月期1Q	29,213 株	24年3月期	29,043 株
25年3月期1Q	28,645,844 株	24年3月期1Q	28,647,356 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## ①わが国経済および産業用容器業界の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資に復調の兆しが見られ、東日本大震災からの復興需要等も牽引となり、景気は緩やかながらも回復傾向を維持しております。

しかしながら、欧州債務危機の影響により円高・株安が進行し、企業業績の下振れの懸念、中国経済の減速感が強まっている事など、依然として先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの事業分野である産業用容器業界におきましては、昨年の第1四半期は復旧・復興関連需要がありましたが、第2四半期以降はその反動や、円高の影響で国内産業の景況が改善せず、需要家での事故の影響もあり、12カ月連続で前年割れの状況が続いております。当第1四半期連結累計期間の国内200リットルドラム新缶の販売数量は、前年同期比11.2%減の3,216千缶となりました。

## ②当社グループの状況

このような需要環境の下、当社グループは、国内産業用容器業界のリーディングカンパニーとしてアジアでも最大級の販売規模を有し、中国にもドラム缶工場を有するわが国唯一の企業グループとして、独自の環境対応製品や耐久性の高い高品質の製品など、豊富な品揃えで営業活動を展開し、業界をリードしております。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績につきましては、売上高63億86百万円（前年同期比19.2%減）、営業利益5億37百万円（前年同期比23.4%減）、経常利益3億96百万円（前年同期比42.4%減）となり、当期純利益は1億69百万円（前年同期比66.8%減）となりました。

売上高の減少は、200リットルドラム新缶の販売数量減少に加え、当第1四半期連結累計期間より、18リットル缶の製造・販売を行っておりますJFE製缶株式会社が、会社分割及び株式移転により連結子会社から持分法適用関連会社になった事が起因しております。また当期純利益の減少は、主にドラム缶販売本数減少による経常利益の減少と前年同期に土地売却に伴う特別利益の計上を行った為であります。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

なお、セグメントの「18リットル缶事業」はJFE製缶株式会社の持分法適用関連会社化に伴い廃止いたしました。

## 〔ドラム缶事業〕

当第1四半期連結累計期間の当社グループのドラム缶販売数量は、国内1,221千缶（前年同期比12.0%減）、中国637千缶（前年同期比6.6%減）、合計1,858千缶（前年同期比10.2%減）となり、売上高は62億68百万円（前年同期比9.2%減）、経常利益は5億6百万円（前年同期比28.3%減）となりました。

国内ドラム缶事業は、前述の産業用容器業界の状況の通り、国内産業の景況が依然として改善せず、主な需要先である化学業界は、円高の影響や設備事故の復旧等も重なり生産が落ち込んだため、販売数量が減少しております。その結果、前年同期に対し減収減益となりました。

一方、中国ドラム缶事業も、欧州債務危機の影響による輸出の不振や個人消費の伸び悩みにより、石油・化学製品の生産が落ち込み販売数量が減少したこと、また江蘇工場の稼動に伴う固定費負担増もあり、前年同期に対し減収減益となりました。

なお、杰富意金属容器（上海）有限公司は、前事業年度に累積損失を解消した事に伴い、当第1四半期累計期間に1998年操業開始以来初となる利益配当を実施いたしました。

## 〔高圧ガス容器事業〕

高圧ガス容器事業は、主力である天然ガス自動車用燃料容器の販売が国内市場の低迷に直面しており、厳しい収益状況が続いております。当第1四半期連結累計期間の売上高は大型受託開発案件の売上計上があった事により1億18百万円（前年同期比198.5%増）、経常利益は1百万円の損失（前年同期は38百万円の損失）となりました。天然ガス自動車用燃料容器に関しましては、成長著しい海外での展開を図るべく活動中であり、また国内では、医療用酸素容器の拡販に加え、バイオガス関連事業など国内における新しいビジネスチャンスを的確に捉え、早期の黒字化を目指してまいります。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比20億70百万円減少の291億63百万円となりました。主な要因は、旧伊丹工場土地の一部売却に伴う土地の減少であります。

負債合計は、前連結会計年度末比23億47百万円減少の119億89百万円となりました。主な要因は、連結子会社でありましたJFE製缶株式会社が会社分割及び株式移転により当第1四半期連結累計期間より持分法適用関連会社となった事による支払手形及び買掛金の減少であります。

純資産合計は前連結会計年度末比2億77百万円増加の171億74百万円となりました。主な要因は、四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加であります。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年4月24日公表のとおりであり、変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ・税金費用の計算

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,743,317	1,369,885
受取手形及び売掛金	8,369,258	8,720,118
商品及び製品	245,804	188,051
仕掛品	218,731	136,159
原材料及び貯蔵品	2,378,254	1,976,761
繰延税金資産	176,603	177,043
その他	1,273,911	1,944,458
貸倒引当金	△1,169	△1,081
流動資産合計	14,404,711	14,511,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,563,501	1,666,191
機械装置及び運搬具(純額)	4,068,358	3,756,770
土地	9,293,284	6,531,109
建設仮勘定	23,182	151,379
その他(純額)	203,413	197,531
有形固定資産合計	15,151,741	12,302,983
無形固定資産		
その他	303,308	267,726
無形固定資産合計	303,308	267,726
投資その他の資産		
投資有価証券	730,753	1,403,461
繰延税金資産	370,676	379,209
その他	282,443	303,410
貸倒引当金	△9,685	△4,630
投資その他の資産合計	1,374,187	2,081,451
固定資産合計	16,829,237	14,652,160
資産合計	31,233,949	29,163,558

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,944,194	4,607,219
短期借入金	3,674,217	3,190,308
未払法人税等	296,423	232,799
未払消費税等	85,592	74,740
役員賞与引当金	27,405	11,332
災害損失引当金	37,302	3,050
その他	1,650,908	1,219,627
流動負債合計	11,716,043	9,339,077
固定負債		
長期借入金	960,269	1,067,389
退職給付引当金	1,365,481	1,309,713
役員退職慰労引当金	91,740	70,320
PCB処理引当金	37,059	37,059
資産除去債務	165,066	165,974
その他	1,436	—
固定負債合計	2,621,052	2,650,456
負債合計	14,337,095	11,989,534
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,365,000	2,365,000
資本剰余金	4,649,875	4,649,875
利益剰余金	9,785,200	9,811,025
自己株式	△6,093	△6,149
株主資本合計	16,793,981	16,819,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,937	△15,978
為替換算調整勘定	△417,321	△244,106
その他の包括利益累計額合計	△400,383	△260,085
少数株主持分	503,255	614,359
純資産合計	16,896,853	17,174,024
負債純資産合計	31,233,949	29,163,558



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	7,908,334	6,386,757
売上原価	6,145,696	4,912,055
売上総利益	1,762,637	1,474,701
販売費及び一般管理費	1,061,698	937,566
営業利益	700,939	537,135
営業外収益		
受取利息	1,239	1,921
受取配当金	2,823	2,344
持分法による投資利益	15,831	—
受取賃貸料	4,470	22,047
その他	25,092	9,663
営業外収益合計	49,456	35,976
営業外費用		
支払利息	20,731	27,118
持分法による投資損失	—	89,020
その他	41,184	60,167
営業外費用合計	61,916	176,306
経常利益	688,479	396,804
特別利益		
固定資産売却益	161,384	—
特別利益合計	161,384	—
税金等調整前四半期純利益	849,863	396,804
法人税等	326,723	234,092
少数株主損益調整前四半期純利益	523,140	162,712
少数株主利益	13,235	△6,341
四半期純利益	509,905	169,054

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	523,140	162,712
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,332	△33,980
為替換算調整勘定	103,191	203,564
持分法適用会社に対する持分相当額	△175	1,063
その他の包括利益合計	101,683	170,647
四半期包括利益	624,823	333,360
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	591,053	296,668
少数株主に係る四半期包括利益	33,770	36,691

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。